

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月14日(金)

事務事業		公立学童保育室運営事業		担当課	保育課	担当係	学童保育係	管理番号	31321	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	児童福祉法、子ども子育て支援法、深谷市学童保育室条例、深谷市学童保育室条例施行規則、深谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例					
	小項目	2	保育環境の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		児童福祉法に基づき、保護者が就労等により昼間留守になる小学校児童の放課後の健全育成を図るため、学童保育室の入室、支援員の雇用、施設の整備や維持管理を行い、放課後児童の安全安心な保育の場を確保する。								
目的 ※何のために		小学校児童の放課後の健全な育成を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		公立学童保育室に入室する児童								
手段 ※どのように		児童の入退室申請・許可、学童支援員（会計年度任用職員）の雇用、施設の整備や維持管理、事業委託、国県の補助申請等を行う。								
成果 ※何を求めるか		放課後等の児童に安全安心な保育を提供する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	公立学童保育室運営事業〔保育課〕	559,774,155
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	公立学童保育室運営事業〔深谷西学童保育室〕	128,405
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	公立学童保育室運営事業〔幡羅学童保育室〕	291,632
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	公立学童保育室運営事業〔常盤学童保育室〕	359,347
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	公立学童保育室運営事業〔明戸学童保育室〕	176,458
本事業の 主な業務		・放課後児童健全育成事業費補助金の申請				・				
		・公立学童保育室支援員の雇用・管理				・				
		・公立学童保育室の整備及び施設管理				・				
		・公立学童保育室指定管理者事務				・				
		・				・				
		・				・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		公立学童保育室（19室）の運営及び整備に係る経費	公立学童保育室（19室）の運営及び整備に係る経費	公立学童保育室（19室）の運営及び整備に係る経費	公立学童保育室（19室）の運営及び整備に係る経費		
事業費	予算（現額）	632,618,000	580,647,000	628,772,000	676,034,000		
	決算額	582,210,873	560,838,753	0	0		
	財源内訳	国支出金	142,708,070	128,575,139	137,604,000	117,284,000	
		県支出金	144,299,480	109,527,457	137,604,000	117,284,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	130,589,536	138,043,659	119,482,000	130,667,000	
		一般財源	164,613,787	184,692,498	234,082,000	310,799,000	
人件費	従事職員数（人）	1.45	1.40	1.40	1.40		
	人件費相当試算※	11,410,858.00	11,214,231.00	11,705,260.00	11,705,260.00		
総事業費試算		593,621,731	572,052,984	640,477,260	687,739,260		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	開室日数	目標値	日							
		実績値		257.00	243.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開室日数は土曜日の保育状況により変動があるため目標値の設定しない。/当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	公立学童保育室数	目標値	室	19.00	19.00					
		実績値		19.00	19.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和3年度から小学校1校につき、1学童となる。（第一・第二の統合） / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 1	年間入室児童延べ数	目標値	人							
		実績値		22,454.00	23,855.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			保育ニーズにより変動があるため目標値を設定しない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 2	教室等の一時借用室数（保育課所管の教室を除く）	目標値	室							
		実績値		15.00	15.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			保育ニーズにより変動があるため目標値を設定しない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 3	運営における事故件数（国に報告した事故件数）	目標値	件	0.00	0.00					
		実績値		0.00	2.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国に報告する事故は重篤な事故となるため0件とする。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	開室日数については、土曜日の利用希望の状況により、変動してしまう。令和5年度は、前年度より開室日数が14日減少してしまったが、利用希望があれば開室する体制となっているため、引き続き、利用者のニーズに即した運営を行っていく。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	年間入室児童延べ数の増加に対し、各学校と調整、余裕教室を確保することで、安定した学童保育を行うことができた。また、運営における事故件数は、令和5年度から事故報告の基準が厳格化された。以前は「30日以上 の負傷・疾病の中で、誰かの悪意によるものや遊具故障の放置によるものなど、悪質性・重篤性の高いものを報告」するのに対し、今後は「30日以上 のものについて全て報告」となったため、今後は件数が増えると思われる。
			評価者 学童保育係長 根岸 佐知

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	昨年度時点で、13の学童保育室を指定管理者で運営している。直営の幡羅及び常盤学童保育室を、令和6年度から、指定管理者で運営するため、作業を進めてきた。その結果、今後は、15の学童保育室を指定管理者で運営することができ、事業効率を図ることができる。
			評価者 学童保育係長 根岸 佐知

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	引き続き、増加傾向にある学童保育室の需要に対し、面積基準を確保するため、既存の施設（小学校の余裕教室）の活用等、教育委員会との調整を行うなど対策が必要である。運営の体制強化を図るため、令和5年度に幡羅及び常盤学童保育室の指定管理者の募集、選定を行い、指定管理者の指定を行う。
達成状況及び その効果	年度当初から事務を進め、7月に選定委員会の審査、8月に指定管理者候補者の決定を受け、仮協定書の締結を行った。また、9月・10月には、議会での審査を経て、滞りなく基本協定を締結。その後、指定管理者と必要な事務手続きや、引継ぎ保育を行い、スムーズな移行が行えた。保護者や学校への周知も適切に行い、大きな問題もなく進めることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公立学童保育室運営事業	担当課	保育課	担当係	学童保育係	管理番号	31321
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		開室日数については、利用希望の有無による影響を強く受けるため、市での対策は不可能である。また、運営における事故件数については、報告しなければならぬ事故の基準が厳しくなったことから、今後、件数の増加が見込まれる。 増加傾向にある学童需要に対し、面積基準を確保するため、小学校の余裕教室の活用等、教育委員会との調整を行うとともに、令和6年度から新たに指定管理となった幡羅・常盤学童の運営状況を見ながら、適切な指導及び事業運営を行っていく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	こども未来部次長兼保育課長 坂倉 茂				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 1	指標名	年間入室児童延べ数																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>21000</td><td>22500</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>21000</td><td>23800</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	令和4年度	21000	22500	令和5年度	21000	23800	令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度		
年度	目標値	実績値																						
令和4年度	21000	22500																						
令和5年度	21000	23800																						
令和6年度																								
令和7年度																								
令和8年度																								
令和9年度																								
区分	成果指標 2	指標名	教室等の一時借用室数（保育課所管の教室を除く）																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	令和4年度	15	15	令和5年度	15	15	令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度		
年度	目標値	実績値																						
令和4年度	15	15																						
令和5年度	15	15																						
令和6年度																								
令和7年度																								
令和8年度																								
令和9年度																								